



—ささ郷 22年度上半期 今後の行事計画—

半夏生の頃となり暑気日ごとに加わりはじめましたが、皆様方におかれましてはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

笹川では稲作の苗、畑では夏野菜の芽が始めています。

- 7月 4日(日) 朝日石油杯笹川ゲートボール大会
- 7月25日(日) 里山整備2回目
- 8月15日(日) 盆踊り練習会 (正覚寺、16:00~17:00)
- 8月22日(日) 里山整備3回目
- 8月27日(金) 秋祭り前夜祭
- 8月28日(土) 秋祭り・盆踊り



南保富士頂上から俯瞰

盈進町内会 風景



切り張りのぎくしゃくはご容赦願います。

—笹川産米の販売について—

【稲作グループささごう】からのお願い

笹川産米をお買いあげ頂き、誠にありがとうございます。笹川の綺麗な水と豊かな土で作る純粋な笹川産米を今年も是非お買い求め下さいようお願い申し上げます。

販売価格 30kg 13,000円  
 20kg 9,800円  
 10kg 4,900円

(上記金額には、送料振り込み手数料含みます。)代金はお手数とは存じますが、代金から振り込み手数料を差し引いて、最寄りの郵便局またはATMからご送金願います。

郵便局振り込み窓口  
 記号 : 13270  
 番号 : 15960461  
 名前 : 稲作グループささごう

お問い合わせ先  
 〒939-0711  
 富山県下新川郡朝日町笹川674  
 竹内 重之  
 電話番号 0765(83)1231  
 または  
 折谷 隆三  
 電話番号 0765(83)9113  
 FAX 0765(83)9114



田圃のまわりに電気柵を設置し、猪等の動物から稲を守っています。

—秋祭り・盆踊り 開催計画—

昨年復活して好評でした、秋祭りの盆踊りが今年も開催されることとなりました。さらに、前日、【共生の里 ささ郷】施設で前夜祭も開催されることとなりました。

8月27日(金) 前夜祭  
 場所 (【共生の里ささ郷】施設  
 催しは 検討中

8月28日(土) 秋祭り  
 屋間 獅子舞(村まわり)  
 PM6:00~7:30 諏訪神社にて  
 秋祭り祭事  
 獅子舞奉納  
 盆踊り  
 PM7:30~

東京笹川会では参加者を募っています。  
 参加ご希望の方は下記まで連絡下さい。  
 なお、宿泊・食事は【共生の里 ささ郷】施設を利用致します。

お問い合わせ先  
 東京笹川会会長 竹内 宏夫  
 0428-32-1886

または  
 同、副会長 長井 清武  
 090-8728-6414

— 里の母 —

長井 佐苗さんの寄稿(東京都八王子市在住)  
 佐苗さんが、ふるさとの母の思い出を小林晃氏に託し、この曲が出来ました。(ホームページ【共生の里 笹川】—文化とのあれ合い—里の母)で演奏しています)



一、夜明けが少し遅くなる頃  
 母を思い出す  
 明け方里から戻る  
 私達を送る母は  
 小川の土手に一人で座り  
 手を振っていた  
 この季節に 朝の風が そよぐと  
 母の顔がなつかしい

セリフ 気をつけて行かれや  
 母ちゃんも まめでおらっしゃい

二、夜明けが少し遅くなる頃  
 母を思い出す  
 ひとりで作る 米と野菜を  
 私達に持たせたい母は  
 籠をかつき 鎌を持ち  
 畑に行っていた  
 この季節に 暑い日差し浴びると  
 母の顔が目につく

三、夜明けが少し遅くなる頃  
 母を思い出す  
 明けの明星  
 私達にささやく 朝は  
 母の笑顔が 空いっぱい  
 広がっていた  
 この季節に 里の母を思うと  
 親の情け 身に染みる

(写真は、昭和27年10月 朝日町リクレーション大会にて)



—東京笹川会 総会・懇親会開催—

去る、5月22日、東京上野の【ホテル丸谷】にて来賓、会員34名ご出席のもと、第17回総会・懇親会を開催致しました。

ご出席頂きました皆様、また、当日ご都合がつかず、近況コメントをお寄せ頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。

総会での議決事項は以下の通りです。

平成22年度事業計画

- 1 平成22年度役員
  - 会長 \*竹内 宏夫
  - 副会長 \*長井 清武 \*若林多嘉江
  - 副会長(兼会計) 折谷 範子
  - 幹事長 \*竹内 忠
- 地区別幹事
  - 大木 涼子 折谷 範子 永井 朱実 大小原佳子
  - 竹内 孝 山形 栄子 篠原 律子 竹内 和磨
  - 監事 \*田代 悦子
  - 相談役 ○長井 英雄 高橋 睦美
  - \*竹内 龍夫
  - 顧問 ○折谷 昭實 野口 絹子

凡例 \*印は東京朝日会幹事  
○印は東京朝日会相談役

2 事業内容

- (1) 東京笹川会総会  
平成23年5月開催予定
- (2) 笹川秋まつり盆踊り大会参加  
8月28日(土)
- (3) 笹川友愛会旅行参加  
平成23年3月予定
- (4) ホームページ「共生の里 笹川」  
維持継続(随時アップ)
- (5) 「笹川だより」継続  
年間3~4回発刊
- (6) 東京朝日会総会出席
- (7) その他(東京宮崎会総会、富山県人会出席等)

当日、以下の資料を配付致しました。  
ご希望の方は、下記までご連絡下さい。

- 1. 東京笹川会 会則
- 2. 東京笹川会 会員名簿  
(個人情報漏洩防止のため、氏名、住所(都道府県+市まで)となっています。)
- 3. 笹川系図(笹川史稿の系図に現在の世帯主を記載)
- 4. 笹川屋号一覧(現在の世帯主も記載してあります。)

連絡先

〒252-0131  
相模原市 緑区 西橋本 4-13-14  
長井 清武  
電話 090-8728-6414  
Eメール kytake@salsa.ocn.ne.jp



—自然とのふれあい(1) 人・活動—

本号は、自然とのふれあいを特集しました。  
最初に、郷里の自然を慈んだ故 折谷 隆夫さん、および現在、森林の整備・保護に尽力されている、笹川自治振興会(会長 竹内 康博さん)の活動記事を掲載致しました。

—【北日本新聞】平成22年3月28日発行—

山と生きた朝日町の  
三峯グリーンランド管理人  
折谷 隆夫さん  
(朝日町笹川)

地域の自然慈しむ

朝日町の自然を慈しむ。折谷隆夫さん(左)と朝日町長(右)。

—新川農林振興センター【富山の林業】平成22年5月1日発行—

地域の森林整備を進める

新川農林振興センターから、朝日町笹川の竹内康博さんをご紹介いたします。

竹内さんは会社勤務の定年を退いた後、笹川地区の運営に関心をもち、現在、地区の自治振興会会長を務められています。定年後、地区内の森林を歩いて回り、昔の風景を思い出され、もともと森林整備を進めなければならぬという思いから、自治振興会会長を引き受けられたと伺っています。また、時間が増えてからは、地元炭焼きグループやわさび組合の活動にも参加され、改めて地元の良いところを見直すことができ、このように活動は御自身も周囲の方も楽しい、と感じられるとのことでした。

「現在、木材市況はあまりよくないが、環境や二酸化炭素の問題もあって、ようやく動き出した立木をお金にするには手入れをしないとダメと感じたが、それとどういかに伝えるかという。森林整備を仕える人に勧める前に、まず自分

この竹内区長さんの意気込みに応えるように、この1、2年、地区の皆さんが地元森林を調査するなど、積極的に行動されておられます。

農林振興センターとしても区長さんをはじめ地域の皆さんの意気込みに応えられるよう取組みを進めたいと考えています。

富山県新川農林振興センター  
森林整備課 井取 晋也氏

朝日町 竹内 康博さん

# 一自然とのふれあい(2) 里山三山一

笹川の里は、八方、標高250m~1,000mの山々に囲まれていると言っても過言ではありません。

そんな山並みに郷里のH. Oと言う山道家が、**大鷲山**と**黒菱山**に登山道を開拓してくれました。

この二山に、昔から登山道があった**南保富士**(仁王山と言う人もいます。)を加え、この3つの山を、ささ郷の【里山三山】と言います。

山頂からの景観は、南に白馬岳と柵海新道の山々が並び、さらに黒部川を隔てて剱岳とその北に毛勝山、駒ヶ岳、僧ヶ岳までが眺望出来ます。そして黒部川扇状地の向こうに富山平野が広がり、富山湾の向こうに能登半島が先端まで見えます。晴れた日に眺める景観こそ、山登りの充実感であると思います。



小川からの眺望

## 一 大鷲山 山道 5km 上り 3時間、下り2時間一



宮崎地区とヒスイ海岸

ほとんどの山は、いくらか標高のあるところからスタートするが、この山は新潟県と富山県の境にある境川河口(ヒスイ海岸)が出発点である。

ちょっと登って用水路を進み、すぐに杉林の急登となる。この先も急な杉の植林地を直登する。まもなく広葉樹の林になり、470mの小ピークとなる。50mほど下り、登り返したところが展望広場で、林道烏帽子線が横切っている。海を眺める絶好の地で、休憩用のベンチもある。

750m地点で進行方向を直角に左に折れる。この少し先で正面に山頂が見えてくる。初雪山が見え、その左に犬ヶ岳から白鳥山あたりの山々を望むことができる。



林道の法面に刻まれた道を登ると、ブナやナラの林になる。途中から白鳥山や上路(あげろ)の集落が見え、灌木の背は低くなり、風雨に耐えたゴヨウマツが細い尾根の真真中に現れたりして気持ちよく歩ける。左右の展望がよく、海が見えるのもうれしい。



岩ウチワ



こぶし

(撮影:6月)

## 一 黒菱山 山道 3km 上り2時間、下り1.5時間一



笹川の里

ウダツキヤから川沿いの林道を約4.5キロ進むと、10台くらい駐車できる広場があり、そこが登山口である。対岸に登山口標識が見える。右側は三四郎谷で親知らず滝が見える。

頂上より  
ささ郷、黒部扇状地を眺望

いきなりの急登である。標高差100mも登ると斜度は緩くなり、尾根が広がる。緑濃い樹林帯を行く。滑りやすい急登をロープにつかまって登ると主稜線に出る。右に90度折れ、ゆったりとした道を進んで二等三角点のある山頂に立つ。



ミヤマツ



コケ

ななかまど  
の実

(撮影:9月)

## 一 南保富士 山道 1.5km 上り1.5時間、下り40分一



頂上から剱岳・毛勝山などが眺望出来る

南保富士は七重滝の源流部に所在する山で、軽登山の山として慕われてきた。最近では積雪期の晴れた日にも登山する人が増えている。また、積雪期には、稜線づたいに黒菱山まで足をのぼす人もいる。(積雪期以外は雑木が茂っているため通行不能。)

ウダツキヤの橋の手前で右折し、三峯グリーンランドを経由し、西山用水の跡地に出た林道を進むと5台くらい駐車できる広場があり、そこが登山口である。杉林の登山口標識が見える。杉林、唐松林をすぎると山の斜面道になり、そこを越えると稜線にでる。



山道に咲く山つつじ

(撮影:6月)



# ー自然とのふれあい(3) マイナスイオン満喫の滝めぐりー



はじめに  
朝日町の東部山地は飛騨山系の最北端に位置します。ささ郷の山、谷は、七重滝の流紋岩からなる断層崖にみられるような形をしています。

急傾斜の谷を雨水、雪解け水が長い年月に亘岩の上の土を流し、大きな岩、堅い岩盤が崩れずに残り大小の滝とり、川は岩の上を流れている様相をしています。



**杉谷 しら滝**  
鳥帽子山林道の中腹、道路より少し右に入った所にあります。



**七重滝**  
南保富士(山)(標高:727m)に端を発した七重滝谷川(笹川の支流)に、七重滝「シツチャタキ」と呼ばれる滝があります  
この滝は、流紋岩からなる断層崖を7段になって落下していることからこの名称がついており、その落差は約60メートルもあります。

**南保富士 黒滝**  
七重滝の上部にあるふるさと歩道(旧西山用水跡)と南保富士頂上の真ん中あたりにあります。

左:上部、右:下部



ふるさと歩道から数段の堰堤を経由し登るコースと、南保富士から雨池、ブナ林経由で下山するコース(勾配がきついで注意が必要です。)があります。



**三四郎谷 親知らずの滝、大滝**  
親知らずの滝は、黒菱山登山口の右側にあり、登山口から見えます。  
大滝は、その上部にあり、落葉期は登山口からかすかに見えますが、その他の時期は親知らずの滝から沢を上って行かなければなりません。

親知らずの滝

大滝



落葉時期登山口からの眺望



1段目



2段目



3段目



4段目



**亀が淵谷 焼山の滝**  
4段有りますが、下流から2段目の滝は、黒菱山登山口から上部がかすかに見えます。  
登山口左側の沢を10分ほど登ると1段目と2段目が見れます。  
3段目以上は、健脚者で無いと登れません。

**牛首(おさくぼ)の雫**  
牛首は急峻な斜面のため、雨後の水量が増えたときに所々に山筋を流れる小さな川を見る事が出来ます。小さな川なので落葉時期でないとき全容は見えません。

**【編集後記】**

第3号は、自然とのふれあい特集として、里山三山、滝めぐりを掲載致しました。(残念ながら、壱の谷の大滝は掲載出来ませんでした。いつかきっと紹介したいと思います。) 帰郷の際、これらの景観を訪ねて頂ければ幸いです。

今年の総会の場で会員からの寄稿も可能かとの質問を頂きました。是非、皆様からの寄稿をお待ちしております。  
今回は、東京都八王子にお住まいの長井 佐苗さんから【里の母】という歌を寄稿頂き掲載致しました、

故・折谷隆夫さんの新聞記事も掲載させて頂きました。私事ではありますが、小生にとっては得難い師匠でした。

インターネットに【共生の里 笹川】ホームページのアドレス <http://www.ubique.dynalias.com/~sasakawa/> 次号は10月、【文化とのふれあい】を予定しております。  
(長井清武 記)